

広報

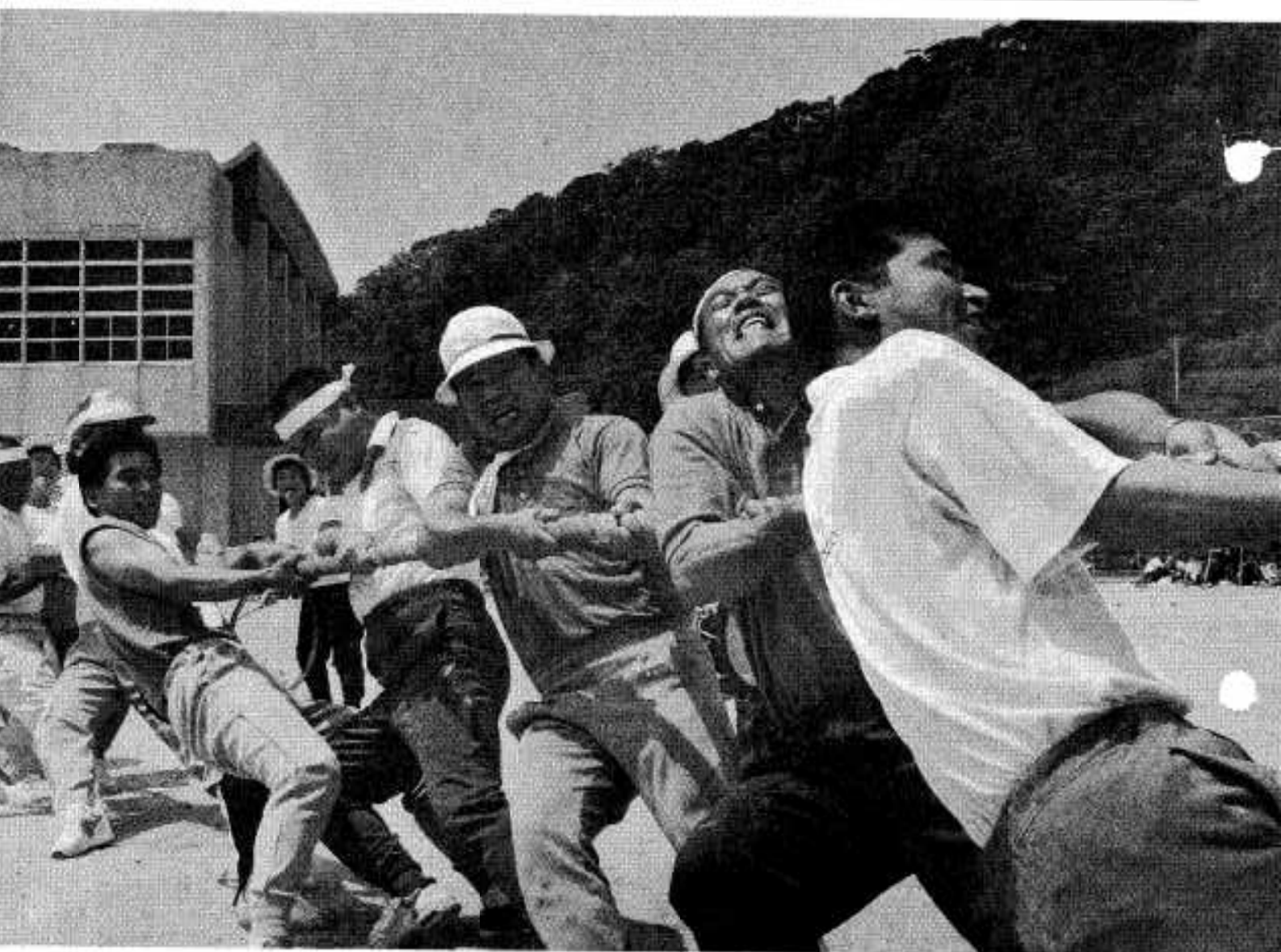


あくね

阿久根特産
あくね
うまいね
自然だね

第560号

編集・発行／阿久根市役所総務課 〒899-16 鹿児島県阿久根市鶴見町200番地



平成5年

9月号

ヨイショ!
ヨイショ!
ヨーイショ!

入学・卒業・就職・結婚……それぞれの思いを胸に

今年も10月3日(日)『50歳組』

50歳組
歓迎号



(写真は昨年の臨本小50歳組)

大川小30年卒業

大田 盛幸 さん

昔は小・中学校が同じ敷地内にあり、今の中学校ができる時、夏休みはその校庭づくりを手伝わされました。大川は中学校までみんなが一緒に通うため、恩師との思い出も多く、今年も小・中学校でお世話になった先生を一同に招くことにしています。160名程の参加者のうち、約8割が市外からの帰郷者。更にきずなが深まり、今後の励ましになるような同窓会にしたいと考えます。
◇帰郷される方に一言 すばらしい同窓会にしようと地元も頑張っています。元気な笑顔で帰ってきてください。



阿久根小31年卒業

大田 洋三 さん

同窓生280名にものぼる大所帯。実行委員20名で準備を進めています。運動会では組ごとにTシャツを色分けして頑張ります。また翌日には、今年も大島遠足を計画しています。

入学当時は広い講堂を組ごとに間仕切りをして授業を受けました。また5年生の時に、当時は最も近代的だった、(今建て替え中の)3階建て校舎に入ることができたことが思い出です。
◇帰郷される方に一言 新鮮なキビナゴ、イワシを準備して待っています。懐かしい顔に会える日が楽しみです。



西目小31年卒業

佐 湯 重美 さん

今のプールのある所に、当時は離れ校舎があり、そこへは長い木橋を渡って行きました。天候が悪い日などは少々おびえて渡ったものです。6年生の頃、気象観測の担当になり、授業中でも先生公認で教室から出ることができ、ワクワクしたのを覚えています。50歳組を人生の一つの好契機として、お世話になった方々への感謝と、今後社会への関わりかたなどについて、一人ひとりが自覚できる、思い出に残る会にできたらと考えます。
◇帰郷される方に一言 久しぶりに小学生に帰って、楽しくやりましょう。



山下小31年卒業

盛 永 豊 さん

同窓生31名。全員が健在で、元気で頑張っていることが、何よりうれしい事です。遠くから来る人に「帰ってきてよかった」と言われるような同窓会にしようと、地元の者8名で一致協力して準備を進めています。山下は給食が早くに始まったようで、粉ミルクとバサバサしたパンを食べていた記憶があります。先生にはよく怒られたものです。良き思い出として山ほどの話があります。
◇帰郷される方に一言 運動会当日に足が絡まらないよう、ジョギングでもしてコンディションを整えておいてください。



華の50歳組によせて

今年も十月三日、市内の各小学校で大運動会が開催されます。その中で、本市独特の競技種目として、地区民はもとより多くの報道機関も注目する「五十歳組」が行われます。

「五十歳組」とは、市内各小学校を卒業し、今年五十歳を迎えた人たち（大川は五十一歳）が、全国から帰郷して母校の運動会に参加するものです。男性は主に小学五年生と、女性は二年生とリレーで競技をし、毎年その健在ぶりを披露しています。五十歳組の当初の目的は、中年層の体力保持、健康増進であったと言われます。しかし、現在では、母校の運動会への参加を機会に同級生が一堂に会し、お互いの無事を喜び、亡師、亡友の慰霊祭を行うとともに、旧交を温め連帯感を深める同窓会を開く習慣となっています。

このような行事は全国的にも珍しく、人口の都市集中化で「ふるさと離れ」が進む中、郷土愛や愛校心を表現するものとして各方面から注目を集めています。

この発祥は阿久根小学校。

郷土愛に支えられた伝統行事

昭和二十六年に当時五十歳だった人々の間に競走話が持ち上がり、それに同調する周囲の人が互いの挑戦をエスカレートさせ、最後には小学校の運動会に五十歳の種目を入れることになったのが始まりと言われます。

これが盛會に終わると、各小学校へ飛び火し、大川小では昭和二十八年（一説には三十二年）から、西目小では三十五年から五十歳組が始まりました。さらに五十年代に入ると鶴川内小、山下小、折多小、尾崎小と増え、六十年から臨本小が加わり現在に至っています。五十歳組の発足の時期は各小学校で違っていますが、同級生の連帯感、母校愛、郷土愛がその源になっていることは事実です。

早いところで今年で四十三回目。本市の歴史の中でも、ひととき心温まる行事の一つと言えます。益や正月には帰省しなくなり、この時期だけは帰省して小学時代に帰るという五十歳組。故郷を思う美しい心に支えられたこの伝統行事が、いつまでも残るよう大事にしたいものです。

50歳組参加者の約7割は市外からの帰省者です。今回は、各小学校の実行委員代表者の方に帰省される方へのメッセージとともに、昔の思い出や50歳組を迎えるにあたっての思い入れなどを語っていただきました。

尾崎小31年卒業

中村 幸治 さん

今年の参加者は16人程。一番小さい規模ですが、それだけにまとまりもあります。小学時代は戦後の復興期、貧しく苦しかったことをまず思い出します。楽しみは遠足で、この時だけは白いご飯と卵焼きが食べられました。私は50歳で真に大人の仲間入りだと考えます。本当の大人の話をみんなとしてみたい。またこの歳になればこそ、先祖や亡き友だちの供養も忘れてはならないと思います。◇帰郷される方に一言 家族に50歳組のことをよく理解してもらい、気軽に事故の無いよう帰ってきてください。



臨本小31年卒業

松崎 勝雄 さん

学校の便所のくみ取りも、昔は生徒たちがやっていました。また掃除用の水は近くの川へくみに行っていました。当時は遊び道具も少なく、ドッジボールなどはよく取り合いになったことを覚えています。現在は校舎も校門も全て変わり、立派になりました。帰郷される方は母校を見てびっくりすると思います。運動会の翌日には、折口、長島も含めた中学校の同窓会も予定しています。◇帰郷される方に一言 とにかく楽しみに待っています。電話だけでなく、遠慮せずに帰ってきて顔を見せてください。



鶴川内小31年卒業

東園 和明 さん

小さい頃、食事はからいもごはん、ダンゴ汁、漬けデコン等でおなかいっぱい食べることもなく、貧しいものでした。雨の日には、ばん傘をさし砂利道を素足で学校へ通ったものです。また、女の人たちは頭にしらみ駆除のDDTをかけてもらっていたのを思い出します。50歳になり社会の中核として頑張っているのも、やはり故郷の鶴川内があるからだと考えます。◇帰郷される方に一言 現在の学校は昔を偲ばせるものはあまり残っていませんが、当時を思い出して、楽しく一生懸命走りましょう。



折多小31年卒業

山口 勝彦 さん

小学校卒業の年に、三笠町と阿久根市が合併。そのため中学校が離ればなれになり、今回は小学校卒業以来、初めて再会するという人も多はずです。5年生の時校歌ができ、よく練習しました。この校歌だけは今でも全く忘れません。冬場は教室内にコンロがあり、その熱で弁当箱を暖めたものです。昼食近くになるとタクワンなどの匂いが教室に充満していたのを思い出します。◇帰郷される方に一言 体育館も新しくなり、学校もきれいになりました。ただ自然だけは昔のままです。元気に帰ってきてください。



夏まつり

工夫凝らし、ムード高める台車やみこし

今年の夏まつりは八月七日と八日の両日にわたり行われました。初日のハンヤ節パレードでは、各地区子供会や会社、団体などから五十八連・約三千人が参加し、それぞれの踊りを披露しました。このパレードの中にあつて、一番重宝するものは、荷物や飲み物を運ぶのに便利な台車やみこしです。大所帯の連では工夫を凝らした台車やみこしを作成し、見物人へのPRとともに、祭りを盛り上げてくれます。

今回は、おそらくその作成に汗を流されたであろう台車やみこしを中心に写真を掲載させていただきました。



スケールの大きさに観客を驚かせた阿久根郵便局

▼会社のマークを強調したNTT



▼絵もうまく描いていた市民病院



▲毎年力作を見せてくれる産児島製靴

▶大黒様に乗せたJA阿久根支所



◀本格的なみこしで参加のヤナセ氏



手作りうちわ千五百本をプレゼント

—愛和園入園者が作成—

身体障害者療護施設「愛和園」の入園者らが八月三日、市役所を訪れ手作りのうちわ千五百本を市へ寄付しました。地域へ恩返しを」とうちわ作りは今年で二年目。五月から作業が始められ、竹の骨棒に紙を張り合わせてから形を整え、緑取りするまで、全て園生の手作業で進められたものです。寄付されたうちわは夏まつりのハンヤ節パレードの踊り子らに配られ、涼しげな風を起こしていました。



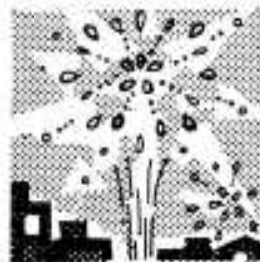
ハンヤ節おどり コンクール結果

- ▽最優秀賞 木花流翠蘭会
- ▽きれいだった連賞 光華流
- ▽ユニーク連賞 阿久根郵便局
- ▽かわいかった連賞 鴻子保育成会
- ▽ハッスル連賞 内山病院

- ▽仮装大賞 鹿児島製靴株
- ▽仮装優秀賞 阿久根市民病院付属看護学校



今日はめでたい日……(有)松建設



広告を第1にした だいわ機



ミッキーもお手伝いのマキオホームセンター

皆さんの意見をお聞かせください

ハンヤ節パレードの当日にも説明がありましたが、近年の幹線道路における交通量の増大等により、来年から国道3号を使ってのパレードができなくなる見通しです。来年に向け、関係機関では様々な検討を行っておりますが、祭りを更に充実させる良いアイデアやご意見等がありましたらお聞かせください。連絡先・市役所商工観光課または阿久根商工会議所



小学生の部 市長賞

「お母さん

聞こえますか。」

田代小学校六年

柳原香紀



「お母さん、私の声が聞こえますか。耳もとに届いていますか。お母さん、見えますか。こんなに大きくなった私の身体が、平成三年七月四日、私の母は、祖父や祖母、そして父の熱心な看病のせいもなく、三十四歳で亡くなりました。」

「お母さん、私の声が聞こえますか。耳もとに届いていますか。お母さん、見えますか。こんなに大きくなった私の身体が、平成三年七月四日、私の母は、祖父や祖母、そして父の熱心な看病のせいもなく、三十四歳で亡くなりました。」

「お母さん、私の声が聞こえますか。耳もとに届いていますか。お母さん、見えますか。こんなに大きくなった私の身体が、平成三年七月四日、私の母は、祖父や祖母、そして父の熱心な看病のせいもなく、三十四歳で亡くなりました。」

「お母さん、私の声が聞こえますか。耳もとに届いていますか。お母さん、見えますか。こんなに大きくなった私の身体が、平成三年七月四日、私の母は、祖父や祖母、そして父の熱心な看病のせいもなく、三十四歳で亡くなりました。」

堂々と熱弁ふるう

市少年少女弁論大会

の保存を”



平成五年度の少年少女弁論大会が八月三日、三笠中体育館で開かれました。大勢の観客が見守る中、市内各小中学校の代表者らはそれぞれのテーマで、堂々と熱弁をふるいました。

平成五年度の少年少女弁論大会が八月三日、三笠中体育館で開かれました。大勢の観客が見守る中、市内各小中学校の代表者らはそれぞれのテーマで、堂々と熱弁をふるいました。

平成五年度の少年少女弁論大会が八月三日、三笠中体育館で開かれました。大勢の観客が見守る中、市内各小中学校の代表者らはそれぞれのテーマで、堂々と熱弁をふるいました。

相談

▽年 金(市役所)	9月20日(月) 10時~16時
▽税 金(商工会議所)	9月20日(月) 10時~15時
▽交通事故(市役所)	10月14日(木) 9時半~15時半
	10月20日(水)
	11月11日(木)

命生きてねと言いたかったにちがいないんだよ。」と、涙を流しながら話して下さいました。



中面 祐樹

鶴川内中学校三年

残そう郷土の文化を

中学生の部 市長賞

“環境保護・郷土芸能



私たちの鶴川内校区には、「虚無僧踊り」という、江戸時代頃から伝えられている踊りがあります。なんでも、江戸時代末期、虚無僧姿でもぐりこんできた幕府のスパイを、農民たちが捕らえようとして争った事件をもとにして作ったのだそうです。戦後十七年、昭和三十七年に復活し、昭和の終わりまで文化財として、幾度となく様々な場で披露されてきました。しかし、それ以後は、昭和六十三年の夏祭りや婦人会総会で踊られて以来、

環境問題や地域の伝統芸能の保存、自分の将来のことなど、幅広い分野で、中身の濃い説得力ある発表が行われました。他の入賞者は次のとおりです。
▼議長賞 幸敬略
馬見塚勇希（西目小六年）
福浦ひとみ（三笠中三年）
▼教育長賞
大迫広佑（鶴本小六年）
野畑三佳（阿久根小六年）

公の場で披露されるということにはなかつたそうです。
しかし、平成四年、この虚無僧踊りは、黒地区の生徒たちによって、また、披露されることになったのです。僕は放課後、虚無僧踊りの練習で使う曲を聞く度に、どんな踊りなのかと気になっていました。九月の体育大会、とうとう発表のときがきました。尺八に白の虚無僧衣、てつこうなどを装った虚無僧と、黒の紋付きに紫の頭巾をかぶった手踊りの妙な格好を見て、はじめは笑いをこらえていたのですが、踊りが始まってから、きびきびとしたその動作に僕は見入られ、そして、身震いする程の感動を覚え、踊りというものの素晴らしさを知りました。
そんな感動も薄れかけていた今年の六月、郷土の文化財を知

ろうというところで、二、三年生は、その虚無僧踊りを踊ることになったのです。僕は未経験者だったので、同じく経験したことのない友人と、昨年の体育大会で踊ったことのある友人との三人で、虚無僧のパートの指導役をすることになりました。体育大会のビデオを見て、何度も練習をしたのですが、なかなか覚えることができません。動作自体は簡単に見えるのですが、一つひとつの動作のつなぎ目がやけに難しいのです。だから、体育大会で見たようなキビキビとした動きがとれないのでしよう。やはり、一日や二日の練習で、長い年月を経たこの踊りを覚えようというのは、甘い考えだったのかもしれない。

結局、僕は、同級生や下級生には、本当に正しいと言える虚無僧踊りを教えることができませんでした。とても残念です。しかし、この練習を通じ、郷土文化の大切さと、それを受け継いでいくことの必要性を知ったように思います。虚無僧踊りは、無形文化財といわれ、古墳や石碑のような、形としては残っていません。誰か踊ることのできる人がいなければ、この虚無僧踊りはなくなってしまうのです。踊りはなくなってしまうのです。

それは、その郷土の文化を、一人ひとりがよく理解することにあると思います。そして、みんなが協力して受け継いでいこうとする意志も大切なのではないのでしょうか。都会へ出て、幾年かたつて帰ってきたとき、自分の郷土の文化が、まだ引き継がれ、残っていたら、とてもうれしいことではないでしょうか。そうに違いありません。私たちは、これから、虚無僧踊りをはじめ、多くの郷土文化の「火」をたやさず、逆に大きな「炎」にしていかななくてはならないのではないのでしょうか。それが、これから大人になっていく、私たちの課題なのです。

いてきた鶴川内の文化が、また一つ消えてしまうということでは、鶴川内の文化を消さないようにするために、どうしたらよいのでしょうか。



コスモス

5代目 AET クレヤー先生着任 「楽しい授業しよう」



五代目のAET「英語指導助手」として、クレヤー・ウィリアムス先生(25)が着任しました。今後、中学生を対象に授業の中で発音や英会話の指導をしていただきます。

クレヤー先生はイギリス生まれ。ピートルズや最近ではサッカーのリネカー選手の故郷として知られているリバプールの出身です。

七月末に本市に生まれ、八月七日の夏祭りには、ハンヤ節踊りパレードに参加。初めは緊張したけど、踊りだしたらすごく楽しかった」と、積極的に明るい性格の一面を見せてくれました。

AETを志したのは、大学では東南アジア諸国のことを勉強し、「英語を教えながら日本の文化を吸収したかったから」とか。「日本独特の芸術である華道

なども学んでみたい」と話されます。

「北海道の雪まつりや、外国との貿易で歴史を持つ長崎など訪れてみたい」と、日本でやりたいことは後を絶たない様子。

本市の印象は「買ひ物の途中でも、かたことの英語で気軽に話しかけてきて、みんな親切にしてくれそうです。本当にうれしい」と、気に入られたようです。

イギリスでも中国人の子供たちに英語を教えていた経験を持つ先生。「できればチームティーチングなどの学習法も試してみたい」と、今後楽しい授業が展開されそうです。

先生も生徒の皆さんと「早く友達になり、楽しく授業をやりたい」と話されます。積極性が英語上達のカギ。早くクレヤー先生と友達になり、使える英語を身につけましょう。

第3回 おさかな祭り

お土産に「新鮮な魚」を

帰省客らでにぎわう！

「お魚の街あくね」のPRと現在構想が進んでいる「アグネウまいネ自然だネセンター(仮称)」の建設へ向けてのムードづくりを行おうと、第三回あくね新鮮おさかな祭りが八月十六日、阿久根新港で開かれました。

お盆の帰省客らも含め約三万人が詰め掛け、会場は終日人の波でにぎわいました。

祭りは市漁協や鮮魚仲買組合、水産加工組合・塩干加工組合などの水産関係者らが実行委員会を組織し開催。四十業者が出展し、活魚、鮮魚、水産加工品、特産品などを展示即売しました。

市価より二、三割り安く、しかも新鮮とあって、早くから買い物客が訪れ、オーブニングセレモニーが始まるころには、既に商品の品定めする人も多くいました。

一般にはなかなか手に入らない刺し身用ミンククジラが五百円で千円など、目玉商品の置かれたコーナーでは人だかりができて

ていました。また、いけすに泳ぐ魚を網ですくって販売する活魚コーナーでは、客自身も水しおきを浴びながらも、形の良い魚をわれ先にと買い求めていました。

また会場では、さまざまなイベントが実施され、なかでも魚のつかみどり大会では子供たちが歓声を上げながら、水槽内に泳ぐハマチを追いかけました。



人波が絶えなかった即売コーナー

おじいちゃん おばあちゃん いつまでも元気で

市内90歳以上は168人

高良武敏さん(100歳)が長寿一位

平成5年9月10日(年齢は15日現在) ※敬称略

100歳 高良 武敏(大丸)	水間 ヨメ(新町)	福留 進(黒之浜)	中園 チカ(波留)
99歳 新藏 巳之助(新町)	黒脇 愛子(◇)	濱邊 アサノ(鶴之東)	長田 ソメ(梅)
98歳 小幸田 キク(新町)	宮田 ヒモ(上野)	山田 重次郎(吉里)	清水 清秋(遠矢)
宮園 シモ(波留)	中野 アキノ(濁)	中川 ツル(松ヶ根)	中村長右衛門(弓木野)
上野 ヤエ(羽田)	落 フサ(大丸)	松下 スエノ(下村)	折橋 キクエ(◇)
西田 駒助(高之口)	濱田 藤助(波留)	益田 勇吉(鶴馬場)	牟禮 チエ(牛之浜)
若松 正一(尻無上)	花本 ヒサ(◇)	福田 信男(段)	大田 盛藏(尻無上)
97歳 大漣 ハツカメ(大漣)	中野 ヨシ(田代中)	小木原 チトセ(大尾)	松下 サヨ(◇)
山下 半兵衛(鶴之西)	寺地 サト(尻無上)	山下 慶太郎(新町)	鶴 蘭 美義(尻無中)
有田 シナ(上野)	湯田 チヨ(尻無中)	谷口 タカ(◇)	下 蘭 ケサキク(尻無下)
小田原 九藏(浜)	中村 シヲ(的場)	遠竹 スエノ(◇)	花田 ケサノ(的場)
池上 茂市(大丸)	神之田 エタ(仲仁田)	新町 オト(◇)	楠田 サスノ(◇)
川畑 ヒサマツ(川畑中)	93歳 濱上 均(上野)	中村 ナツ(上野)	中野 タ子(仲仁田)
96歳 磯畑 イツノ(新町)	福留 明(黒之浜)	森 コト(波留)	90歳 洲崎 テル(黒之浜)
鶴崎 トメ(上野)	松崎 ツヤ(瀬之下)	小野 フミエ(菫野)	園田 シズエ(吉里)
崎山 鈴(町)	小畑 テイ(折口東)	平田 セノ(横手)	早水 キクマツ(瀬之上)
倉津 サエ(倉津)	池寄 ユキ(桐野下)	児 玉 ケサキク(上桑)	櫻八重 キク(筒田)
下 藤 シヲノ(尻無上)	築地新 イセ(中村)	末吉 ナヤ(遠矢)	野崎 燈(鶴馬場)
川畑 伊勢菊(的場)	田原 ヤエマツ(牧内)	猿 楽 ヲトマツ(佐濁)	井坂 伸次郎(◇)
牛之濱 ススミ(牛之浜)	日笠山 トメ(新町)	寺地 ヒロ(尻無上)	嶋 勝 義(永田上)
中村 センミツ(◇)	新町 ムツ(◇)	川畑 ソメ(的場)	上内田 ミツエ(大下)
95歳 南 ハツカメ(鶴馬場)	牛之濱 スマ(◇)	神之田 節(川畑中)	平木 トヨノ(菫野)
宮内 フイ(瀬之上)	丹 宗 田鶴子(◇)	川畑 キミノ(◇)	永井野 マツ(尾崎)
武田 ヒサヨ(吉里)	山下 スマ(◇)	川畑 ツル(◇)	盛 永 マツ(◇)
福浦 セノ(黒之浜)	大下 七藏(上野)	91歳 中間 イト(鶴之西)	橋本 エイ(山馬場)
松田 オイシ(段)	上野 フク(◇)	松崎 イ子(吉里)	田島 ミサノ(◇)
竹田 スガ(牧内)	東 キミ(高松)	上野 マツノ(陳之尾)	海平 ツルマツ(上野)
出口 宗太郎(新町)	宮内 コナミ(波留)	筒 利 右衛門(筒田)	長野 マツ(◇)
上野 照藏(上野)	松木 ツル(菫野)	向 スイ(◇)	吉村 フチ(町)
坂元 ヨシノ(◇)	田上 ハルギク(横手)	東田 サエ(◇)	船元 マス(◇)
寺地 タ子(高松)	本 クノ(田代下)	小田 タエ(段)	花本 恒儀(◇)
白濱 律(◇)	木下 義昭(遠矢)	日笠山 スヤ(大尾)	有本 ノリ(波留)
吉田 エキノ(大丸)	谷口 ハツエ(尾崎)	鶴崎 アサノ(新町)	波留 ファイノ(◇)
中尾 タメ(波留)	東園 ナイ(大川島)	濱門 ヨシノ(◇)	大石 クニ(◇)
二反 タサイ(菫野)	宇都 キク(馬見塚)	大曲 清(上野)	大庵 ヨシ(大丸)
花田 喜助(中屋敷)	落 アキノ(飛松)	小川 出次(上野)	藤園 エキ(飛松)
94歳 武宮 ハツギク(大谷)	佐 湯 フチ(佐濁)	福永 ヨシエ(◇)	中間 テル(牛之浜)
神川 信(新町)	下 蘭 ツタキク(尻無中)	吉田 オシケ(◇)	宮原 チエノ(川畑中)
	中野 季夫(的場)	石本 スエ(◇)	川畑 サワノ(的場)
	的場 セン(中屋敷)	上 脇 國藏(大丸)	花本 スナ(◇)
	中野 ハツノ(仲仁田)	前田 名利(倉津)	寺地 シヲミツ(尻無下)
	松永 矢四郎(牛之浜)	倉津 ミ子(◇)	鶴 蘭 アキ(尻無中)
92歳 竹原 半助(八郷)		弓場 ユキノ(波留)	下 蘭 フサノ(尻無上)
		中 島 タケ(◇)	

「気軽に音楽を楽しんで」

ゆかたコンサート開催

阿久根吹奏楽団

今年四月に旗揚げした市民バンド「阿久根吹奏楽団（大田久志団長）」が八月五日、市民会館大ホールにおいて初めて単独での演奏会を開催しました。ゆかたぐるしさをなくし、気軽に音楽を楽しんでもらおう」と、ゆかた



すばらしい演奏で好評だったゆかたコンサート

かたコンサート」と銘打ち開催。ポピュラー曲など普段よく耳にする曲を中心に、息のあった演奏を披露しました。

同楽団は「地域に根差した楽団を目指し、また地域の音楽文化向上の一助になれば」と四月二十五日に結成。五月の阿久根ライオンズクラブ主催の音楽祭でデビューを飾り、本格的な活動をスタートさせました。

現在団員は五十四名。阿久根中吹奏楽部のOBらが中心で、市内に加え、市外在住の団員も多く、この日も鹿児島市や屋久島から駆けつけた団員もいました。

た。演奏は、中学時代から指導してきた福島玲士教諭（阿久根中）の指揮に合わせ、午後七時から約一時間半にわたり行われました。曲目には「YAH YAH YAH」

「YAH」ゆれる思い」など普段聞きなれたポピュラー曲が織りまぜられ、観客もリラックスした気分を鑑賞していました。息のあった軽快で見事な演奏に、一曲終わるごとに会場からは盛んな拍手が送られていました。

団員らは「堅苦しくない楽しいコンサートになったと思う」と初の単独での演奏会に満足していました。楽団では、今後月一回程のペースで練習を重ね、十二月にはクリスマスコンサートの開催を計画しています。

産地化へ、もう一息

部会 露地物ナシ

露地物ナシを収穫

本市桐野地区で栽培されている露地物ナシが八月から九月月上旬にかけて収穫されました。ナシ栽培を始めてから六年。本格的な出荷は三年目を迎え、栽培農家らは「軌道に乗せるのにはあと一息」と、早朝からの収穫作業に精を出していました。

露地物ナシを栽培しているのは、農協ナシ部会（大川内実志会長）のメンバー十七人。約三畝で「豊水」と「豊水」の二種類を栽培、三笠ナシとして北九州方面へ出荷しています。一昨年は六ト、昨年は十六トを出荷。今年は長雨と日照不足、

高良さんが満100歳

大丸区の高良武敏（こうら・たけとし）さんが8月3日、満100歳の誕生日を迎えられ、長寿を祝して特別敬老祝い金が贈られました。高良さんは明治35年生まれで、現在、本市の長寿一位。足のリハビリのため老人保健施設「回生苑」に入所中ですが、それも順調に回復してきており、いたって健康とのこと。人の和に積極的に加わり、笑い顔が絶えない活発なおじいちゃんです。お祝いに駆けつけた新市長から「これからもお元気で」と祝い金5万円が手渡されました。



1個ずついねいに収穫を行う栽培農家

それに台風が重なり、例年より小玉で収穫量も三十トあまりと、当初の目標は達成できなかつたものの、市場では「他の生産地も同じような状況」とまずまずの評判だったようです。

部会のメンバーはいずれも二十から四十歳の若手農家。大川内会長は「採算が採れるようになるにはもうひとふんばり。今後も研究を重ね、虫の害への意欲を語っていました。」

アルバム



031211 内線 1214

みんなの



行事・催し物など
お寄せ下さい。

地区の自慢の味 スイカを贈る

木佐木野老人クラブ

木佐木野老人クラブ（田原兼雄会長）の会員らが八月五日、市内の老人ホームなど三つの施設を訪れ、自分たちで育てたス



大きなスイカをプレゼント

また、この日は地区の婦人部や子供会の小学生らも慰問に行き、踊りなどを披露し、華を添えました。

う」と収穫されたものの中から厳選された自信作ばかり。施設では立派なスイカに、驚きと感謝の言葉が絶えませんでした。

この日は「蓮の実園」「聖園老人ホーム」「桜ヶ丘荘」の三つの施設を訪ね、それぞれ八個づつ、計二十四個を届けました。スイカは「地区の自慢の味を届けよう」と収穫され

今年で三年目。「昨年は新米を、二回目からはスイカを贈っています。同地区のスイカは「木佐木野スイカ」として、熊本、水俣方面で販売され、「マルに木」の商標（シール）で広く知られています。

海の大切さを 再認識

再認識

深田港で「海洋保全の学習会」

美しい海を守ろうと八月二十一日、深田港で「海上安全及び海洋保全の学習会」が開催され、臨本地区の住民約百二十名が参加し、海の大切さを学びました。

学習会ではまず、串木野海上保安部の方から、海上における事故や、現在の海洋環境について説明がありました。人形を使っての人工呼吸のやり方の講習では、子供たちももうなずきながら熱心に耳を傾けていました。また現在、海の汚染が急速に進んでいるとの説明に、日頃から海的环境にも関心を持つことが大切だということも、参加者全員で再認識していました。



人形を使っての人工呼吸の講習会

毎年続く清掃作業

— 市身障者協が日本庭園周辺を —

市身障者協議会の会員25人が8月26日、総合運動公園内の日本庭園周辺を清掃しました。同協会では「障害者も積極的に社会貢献をしよう」と、10年程前から市街地や海水浴場の清掃など行っています。4年前から日本庭園の清掃をしていますが、今年は長雨の影響か、草の伸びがひどく、作業も例年になく大変だった様子。しかし、会員らは鎌やゴミ袋を手に約1時間半にわたり、草払いやゴミ拾いなどに、積極的に取り組んでいました。



雨の中でも元気に完泳

— 臨本小児童が遠泳 —

臨本小の児童35人が8月6日、遠泳に挑戦。降りしきる雨にもめげず、元気な泳ぎを見せてくれました。郷土愛を育み、たくましい青少年の育成を目的にPTAが主催したもので、参加者たちは各人の泳力に依り800m、500m、100mの3組に別れて挑戦。沖合の船からゴールの臨本浜港を目指しました。当日は、時折雨が激しく降りつけ、最悪のコンディションとなりましたが、児童たちは「ソーレ」と元気に声を掛け合いながら力泳し、全員無事に笑顔でゴールしました。



“ふれよう 文化の風に”

この秋、催しものいっぱい!!

映画、文化討論会、文化祭、講演会など……多彩な催しを開催します。ぜひ、文化の風にふれてください。

◇ 県秀作美術展

期 日 10月16日(土)～22日(金)
場 所 阿久根市中央公民館第1会議室
内 容 平成4年度県内で開催された県美展、
南日展等の優秀作品25点を展示。
★入場無料
主 催 鹿児島県、阿久根市教育委員会



昨年、本市で開催された県秀作美術展

◇ 県民文化祭地域文化シンポジウム

期 日 10月22日(金)
場 所 阿久根市中央公民館大ホール
内 容 文化人、教育関係者、一般による討論会
により、特色ある地域の振興策を探る。
★入場無料
主 催 鹿児島県、阿久根市教育委員会

◇ 阿久根市映画祭

期 日 10月24日(日)
場 所 阿久根市中央公民館大ホール
上映映画 「月光の夏」
内 容 ピアノにまつわる人間の心情、戦争の
むなしさ、生きることの尊さ、平和への
願いをこめた、涙と感動の映画です。
★入場料は現在検討中
主 催 阿久根市、阿久根市教育委員会
阿久根市文化協会



月光の夏

◇ 第47回 阿久根市文化祭

第19回 出水地区広域文化祭

期 日 10月30日(土)～31日(日)
場 所 阿久根市中央公民館・阿久根市民体育館
内 容 市民が文化の向上を目指し学習した成果を展示・演芸部門で発表する。また、
出水地区2市4町による文化活動の発表会も同時開催する。
主 催 阿久根市、阿久根市教育委員会、阿久根市文化協会、出水地区2市4町

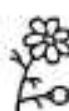
◇ 「原口 泉さん(鹿児島大学教授)」講演会

期 日 11月2日(火)
場 所 阿久根市中央公民館大ホール
内 容 ポンタンをとおして阿久根の歴史を探ります。入場無料
主 催 阿久根ロータリークラブ 後援 阿久根市教育委員会

働く婦人の家だより



平成5年度働く婦人の家後期講座のご案内



～ たくさんのご応募をお待ちしております。～

	講座名	曜日	時間	回数	定員	内 容
午前	源氏物語 (後編)	木	10:00～12:00	15	20	王朝の「男」と「女」を追求
	季節の料理	金	10:00～12:00	15	25	季節の素材を生かした家庭料理のコツ
午後	ワープロ	火・木	14:00～16:00	10	15	基本操作から簡単な文書作成まで
	フラワー アレンジメント	水	14:00～16:00	15	15	四季の花をすてきにアレンジ
夜	ワープロ	火・木	19:00～21:00	10	15	基本操作から簡単な文書作成まで
	カラオケ入門	月	19:00～21:00	15	15	よりうまくノストレス解消にノ
	茶道入門 (裏千家)	水	19:00～21:00	15	15	抹茶の基礎から始めて見ませんか?
	押し花絵	金	19:00～21:00	15	15	押し花、ポプリ、ドライフラワー等
短期	パン&季節の お菓子講座	11月～ 3月	18:30～21:00	5	25	パン作りの基礎と、愛情たっぷりのお菓子 (クリスマス、バレンタイン等)
	おもてなし料理	12月	19:00～21:00	2	25	盛りつけ例、飾り切り等
	男性料理	2月	18:00～20:00	5	20	簡単料理から料理のコツまで

●募集期間 9月20日(月)～9月30日(木)

●募集要項

1. 開講期間……………10月～3月
2. 受講できる人……18才以上で市内在住か在勤の女性
3. 受講料……………無料 (ただし材料費は実費負担)
4. 申し込み方法
下記の要領で往復ハガキで申し込んで下さい。
(1) 希望講座名 第1希望 第2希望
(2) 住所(区名)・氏名(ふりがな)・年齢・自宅の電話番号
(3) 職業 有・無 [有の場合は勤務先・電話番号]
(4) 託児 有・無 [有の場合は子供の名前(ふりがな)・生年月日]
受講期間内は保母が託児をいたします。(ただし、満2才～学館前)
夜間は行いません。
5. 受講は1人1講座ですが、募集人員に満たない場合は重ねて受講できる場合もあります。
ただし、短期講座は定期講座と重ねて受講することができます。
[応募者多数の場合は、公開抽選を行います。10月5日(火) 午前10時 働く婦人の家]
6. 開講日等については、後日ハガキでお知らせします。



【お問い合わせは】 阿久根市働く婦人の家 ☎73-3769
〒899-16 阿久根市鶴見町166番地

歴史スポット 英祿紀行 ④

瑞香山蓮華寺

その2

いま墓地となっている蓮華寺跡には歴代住職の円柱形の石塔の外に無縫塔が二基あります。笠石がなく卵形をしているので卵塔ともいいます。禅寺の間山や高僧の墓塔といわれますので、高標和尚と、南溪和尚のものと思われまふ。前は今の下の方にあって竿の上に置かれていたと、いうことですが埋まっていたと掘り上げることができなかったといひます。卵塔には竿つきの高いものと台座だけのものがあります。この卵塔は外のものと比べて大きな珍しいものです。

住職墓の山手の台座には乱積みされた角柱塔や相輪、宝珠が沢山置かれています。これも石塔で市内の墓地では見られないもので、魔寺のあと再建された上野の蓮華寺には、旧蓮華寺の阿弥陀如来座像や石仏があります。飛松の光明寺には墓地前の溝から発見された仁王像が本堂前に建てられています。弓木野にも蓮華寺にあったものという聖観音と地藏菩薩像が祭ってあります。

この墓地では五輪塔も見られます。下の方から四角(地輪)、円(水輪)、三角(火輪)、半月(風輪)、宝珠(空輪)の形の五輪を積み上げた石塔です。各輪に一字ずつ漢字か梵字で刻まれているの



図書館だより

今月の新着図書



- ▼権名誠「中国の島人」▼芹沢光治良「天の調べ」▼清水義範「私は作中の人物である」▼吉村昭「法師嬢」▼さくらももこ「たいのおかしら」▼村松友規「芝居せんべい」▼沢田ふじ子「遠い道」▼えとう乱星「ガラシア折鶴書」▼高野利也「がん最前線」▼樋口健夫「海外危険回避マニュアル」▼辻真先「汽車旅がいちばん」▼フィリップ・ロス「いつわり」▼平岩弓枝「秘曲」▼神坂次郎「兵庫頭のはら」▼小林紀典「クリントン」▼伊集院静「女神の日記」▼寺内大吉「女人をホトケとなし給う」▼小林照幸

市立図書館利用案内

開館時間	午前9時～午後5時
休館日	月曜日(第3日曜日の翌日は除く) 第3日曜日、祝日 12月28日から1月4日まで
貸出冊数	1人3冊以内
貸出期間	10日間

※貸出は無料です。
※予約、リクエストを受け付けます。

政治小事の如し
赤瀬川 海平 三蔵
鴉鳴き虫なく声と思ひしがわが耳鳴りの音にてありし
赤瀬川 築瀬 紀夫
磯の丘に夏うぐひすの声透り少年応えて口笛を吹く
臨本 宮原 範子
わが町区外人混る夏祭り「ハロ」
と呼べばふり向き笑む
本町 河南 節
とりどりの水泳帽が蛇行して連泳の子ら今岸に着く
新町 竹下百合子
言ひ訳を右から左と聞きながし是も非も言はぬ吾は老いたり
大丸 橋崎 幸

阿久根短歌会

あつがみんじあつます
鹿兒島市在住の松永順吉さん、熊本市在住の林卓哉さん、人吉市在住の林勝次郎さん、出水市の国際ソロプチミスト出水代表・神田みさ子さんから市立図書館へ浄財の寄付がありました。ありがとうございました。
それぞれ文庫として活用します。ご利用ください。

多々の善意
毒蛇」▼大庭みな子「雷」▼藤本ひとみ「見知らぬ遊戯」▼谷村志穂「眠らない瞳」▼日野啓三「台風之眼」▼皆川博子「骨笛」▼白石一郎「海将」

落人の裔と伝へて八百年この奥山に人ら棲みをり(五家莊)
上野 河南誠一郎
一陣の風に煽られ合歡の花道に散りしをふまずに歩む
臨本 赤崎 ケエ
幾世代親しみきたる入海は漁港となりて変貌著し
琴平 川畑 スミ
孫三人伸びつつあらんそれぞれサイズ思ひて腰巻腰ふ
新町 速矢 律
ふる里に豪雨台風相次ぎて国の

B&Gプールを一般開放します

10月12日(火)から総合運動公園内のB&Gプールを下記の日程で一般開放します。

- ◇ 期間 10月12日～11月末日
- ◇ 時間 毎週火曜日と木曜日
午後6時30分～午後8時30分
- ◇ 利用料金
一般 200円

なお、本年度は2月～3月までを上記の利用時間で再び開放する予定です。

詳しくは社会体育課まで。

☎ 73-4649



誕生

おめでとう



出生児	保護者(区名)	※敬称略
野畑 万葉	忠 (桐野上)	高野 孝明 (折口東)
富永 一希	雅彦 (一段)	花田 幸志郎 (波留)
棚寄 真理子	不二夫 (高松)	長谷 豊沙美 (上野)
内園 尚吾	重行 (大尾)	黒水 太輔 (浩昭 (永田上))
寺地 未来	秀行 (波留)	川原 亮太 (和幸 (一段))
中面 明佳	真一 (折口東)	福山 光流 (太喜男 (瀬之下))
河北 憲明	憲久 (桐野下)	猿楽 陽菜 (光樹 (牧内))
		中村 亜希 (哲 (濁))
		跡上 達也 (太志 (黒之浜))
		川原 里佐子 (泰弘 (山馬場))
		高原 翔 (和明 (牧内))
		田之中 瑞希 (正男 (筒田))
		榎木 慎哉 (寛巳 (大下))
		谷口 祐美 (彰 (下村))
		清水 夏菜 (恵 (山馬場))
		富田 恵作 (佐敏 (高之口))
		梶尾 彩花 (和信 (高松))
		山下 凌平 (幸治 (大尾))

社協だより

次の方々から市社会福祉協議会に香典返し等の寄付がありました。ありがとうございます。

- ※敬称略
- 齊藤節子(折)寺地浩信(濁)
- 上堀藤一(町)小田原安三(浜)
- 田中義弘(長野)尻無浜マス子
- (尻無下)尾上勝二(飛松)佐々木幸恵(古里)佐濁久子(佐濁)落友治(牧内)花園茂(新町)
- ※篤志寄付
- 吉野又夫

◆義援金の受け付け
今後もし引き続き社協にて、北海道南西沖地震並びに鹿児島県中豪雨に対する義援金の受け付けをいたしております。皆様のご協力をお願いいたします。

- ※義援金総額(八月末現在)
- 北海道南西沖地震
- 四十六万六千八百八十一円
- 鹿児島県中豪雨
- 三十八万五千八百六十七円
- ありがとうございます。
- 皆様から寄せられた義援金は、日本赤十字社・共同募金会を通じて、被災者の方々へ贈られます。

「めいふくを」お祈りします

死亡者(輪(区名))	※敬称略
瀬野浦 充88(古里)浩也	児玉ツヤ子69(大尾)義夫
新井 松藏59(飛松)トキ	尾上 ツ子84(飛松)勝二
藤園 鉄雄81(大川島)ノブ	松木 ツル82(上原)達雄
濱之上さち77(黒之上)達郎	倉津 末吉63(倉津)フミ
佐濁 積次63(佐濁)久子	馬見新子88(大川島)テル
京田フサエ82(瀬之上)藤雄	吉田 清58(牟田)スキ
石坂 為藏83(新町)中原フサ	久保 清美58(一段)フチ子
松永 準人65(牛之浜)ミチエ	寺地キミエ62(濁)海造
浦 國雄55(浦)昭子	外戸口仲次郎86(古里)佐々木貴士
中村マサエ76(波留)絃一	花園サエ子66(新町)茂
川路 キイ81(新町)昭一	田原キミノ76(牧内)落友治
田上 和雄57(遠矢)エツ子	小村 次郎77(瀬之下)センゾル
田中 イセ81(長野)義弘	尾上 シマ93(飛松)イツノ
鶴園スミタ84(尻無中)義人	川上 重夫74(瀬之下)キリ
小田原モク78(浜)安三	秋野 卓二53(内田)静子
	濱崎 小市78(佐濁)ツタエ
	富永 ソヨ83(一段)義秋
	新井 篤雄82(飛松)シラノ
	馬見新キミエ76(馬見塚)昇

給油所の日曜当番店

○9月19日	寺下石油(橋之西) ☎2077	阿久根石油(橋ノ西) ☎0389
	上臈石油(大曲) ☎1771	折口石油(折口) ☎0251
○9月26日	阿久根石油(鶴見町) ☎0318	阿久根石油(港町) ☎2430
	落合石油(上原) ☎0055	田中石油(大川) ☎0039
○10月3日	阿久根石油(鶴見町) ☎0318	○10月17日
	落合石油(上原) ☎0055	マルハ商事(塩ノ崎) ☎0688
J A 阿久根(折口) ☎1302		丸久石油(赤瀬川) ☎0657
		阿久根石油(鶴見町) ☎0318
		高原石油(長谷) ☎2598

消費生活講座⑤

当たった賞品取りに来て！
有頂天で出かけたところが商品の購入契約
——アポイントメント商法——

「あなただけが選ばれた」とか「当たった賞品取りにきて」などといってハガキや電話で喫茶店などに呼び出します。うまい話に誘われて出向いたりすると、高額商品の購入や会員権の契約をせまります。呼び出したのはビデオ教材やレジャー会員権を売る業者です。購入客を呼び出す手段なのです。心当たりのないうまい話に誘われて出向いたりしないのがいいでしょう。

困ったな？ おかしいな？ と思ったらすぐに市役所商工観光課内の消費生活相談員にご相談ください。
(☎73-1211内線1111)



友だちの輪 ⑦⑥



三 苫 由 賀 さん (22) 寺山区

4年間千葉県の方で働いており、昨年帰ってきました。水産加工団地等の港の変わりように驚きました。しかし、若者の遊べるところが少ないのが、少し寂しいです。運動不足解消のため、これからテニス等のクラブ活動を始めてみたい。

- 趣 味 ドライブ
- 性 格 明るい性格だと思う
- 理想のタイプ 優しく、あまり気を使わなくてすむ人
- モ ッ ト ー いつも笑顔で、元気よく！

※次の友だちを紹介してください。

ハイ、次は上野区の本雪美さんです。

第47回阿久根市総合文化祭

高齢化社会における歯と口の健康を考える 第10回鹿児島県歯周病予防大会

成人のほとんどが、程度の差こそあれ病気になっている歯周病（歯槽膿漏症など）は、早期発見、早期治療すれば必ず治るものです。しかし、放置するといつかは歯がなくなり、いろいろな口の中の機能を失ってしまいます。

この大会は、県民の皆さんに歯周病（歯槽膿漏）について正しく理解していただき、一生自分の歯で楽しい食生活が送れるよう、開催するものです。多数のご来場をお待ちしています。

- ◇と き 10月2日(土) 13時～16時50分
- ◇と ころ 出水市文化会館
- ◇内 容

- (1) 特別講演 テーマ「歯の健康」
講師 東京医科歯科大学教授 石川烈氏
- (2) シンポジウム
テーマ「歯周病への認識を高めるには」
- (3) 文化講演 テーマ「みはてぬ夢」
講師 俳優 寺田農氏

その他、歯科健康相談、健康審査、健康教育を1階ロビーにて実施します。入場は無料です。お気軽にご参加ください。

☆演芸部門

- ・ 前夜祭 10月30日(土) 午後6時～午後9時
- ・ 当日祭 10月31日(日) 午前9時30分～午後3時30分

☆展示部門

- ・ 飾り付け 10月29日(金)
- ・ 展示期間 10月30日(土)～31日(日)

※ 参加団体、出演団体等を募集中です。

演芸部門は9月27日までに社会教育課(☎721051)までお申し込みください。また展示部門は、同課に申し込み後、10月29日に作品を直接会場へ搬入してください。

郵便局からお知らせ 郵便窓口も土曜日は休業いたします

郵便局では、これまで郵便窓口だけは土曜日も開業していましたが、平成5年9月4日(土)から郵便窓口も土曜日を休業とすることになりましたので、お知らせします。

郵便物のあて名は正確に！

郵便局では、お客様の大切な郵便を早く、正確にお届けするため努力しておりますが、あて名の書き方が不十分のため配達できず、差出人にお返ししていることがあります。今後郵便をお出しになる際には、下記例により町名、番地、団地、棟、室番号まで正確にお書きください。(お子様に差出される場合は誰々様方をお書きください。)

○良い例

阿久根市波留3116-4
諏訪団地〇棟〇〇〇号室
郵便太郎様

○悪い例

阿久根市波留
郵便太郎様



戦没者等の妻及び父母等の皆さまへ

特別給付金が継続支給されます

特別給付金の最終償還を終えた戦没者等の妻及び父母等で、次の要件を満たす方に改めて特別給付金が支給されます。

○第十回特別給付金「い号」国債を受けられた戦没者等の妻で、平成五年四月一日において公務扶助料、遺族年金等を受ける権利を有している方に、額面百八十万円の特別給付金が支給されます。

○第十四回特別給付金「い号」国債を受けられた戦没者の父母等で、平成五年四月一日に

おいて公務扶助料、遺族年金等を受ける権利又は受ける資格を有し、かつ、平成五年三月三十一日までの間に氏を同じくする子も孫も有するに至らなかつた方に、額面九十万円の特別給付金が支給されます。

この度の災害で、被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

災害を受けられた方々には、税金を軽減したり、納期を延ばしたりするなどの方法があります。

災害にあわれた方は、最寄りの県総務事務所又は市役所税務課にご相談ください。

▼鹿児島県税事務所
☎0992230161

▼川内総務事務所
☎0996235151

災害を受けられた 納税者の皆さまへ

秋の全国交通安全運動



9/21(火)～9/30(木)

保母臨時職員の募集

市内の保育所・児童館で保母の代替用員として勤務していただく方を募集しています。

◇応募資格 保母の資格を有している方

◇人員及び期間 計2名

(1名……平成5年10月1日～平成6年3月31日)
(1名……平成5年11月1日～平成6年3月31日)

※詳細についての問い合わせ及び申し込みは、市役所総務課職員係まで。☎73-1211内線1211

▼阿久根市役所税務課
☎73-1211内線1443

在宅医さん

- 9月19日 上園医院 ☎1055 (本町)
 - 9月23日 (秋分の日) 内山病院 ☎1551 (高松)
 - 黒木医院 ☎0200 (下村)
 - 9月26日 喜多医院 ☎0038 (大丸)
 - 10月3日 門松医院 ☎0553 (鶴見町)
 - 10月10日 (体育の日) 北国医院 ☎0016 (本町)
 - 10月11日 (振替休日) 林胃腸外科 ☎3639 (大丸)
 - 10月17日 上野医院 ☎0420 (本町)
 - 10月24日 阿久根内科医院 ☎0578 (新町)
- ※救急の場合、市民病院はいつでも対応します。

ワンちゃんの ひきとり

○9月28日
○10月5日・14日・26日
10時から10時30分まで
出水保健所から保健センターにひきとりにきます。



北薩広域行政事務組合 職員採用試験の案内

1. 試験職種 現業職員
(職務内容は、じんかい処理及びし尿処理業務)
2. 採用予定人員 2人
3. 受験資格
 - (1) 高校卒業程度の学力を有し、昭和39年4月2日以降に生まれた者(平成5年度卒業見込みの者を含む)
 - (2) 平成5年10月17日現在において、本人又は家族が1年以上出水市、阿久根市、野田町、高尾野町、東町及び長島町に居住している者
 - (3) 日本国籍を有していること他
4. 試験日 第1次試験 平成5年10月17日(日)
5. 試験場所 出水市役所大会議室
※第2次試験の日時・場所は、第1次試験合格通知のときお知らせします。
6. 試験内容 第1次試験 教養試験及び作文
第2次試験 面接及び身体検査
7. 受験手続き
受験申込書に必要事項を記入のうえ、出水市役所総務課に提出し、受験票の交付を受けてください。なお、申込書は出水市役所市民相談室、阿久根市役所総務課及び役場総務課で交付します。
8. 受付期間
平成5年9月1日(休)から平成5年9月24日(休)まで。
(午前8時30分から午後5時まで、土・日曜祝日は除きます。)
その他、試験についてのお問い合わせは下記まで。
〒899-02 出水市緑町1番3号 出水市役所総務課
☎(0996)63-2111 内線205、206

調査員がお伺いします 住宅統計調査にご協力を

10月1日現在で、全国一斉に住宅統計調査が実施されます。この調査は、昭和二十三年から五年ごとに行われている住宅に関する国の最も基本的な調査です。

我が国の住宅の事情が地域的に明らかになれば、調査結果は国や都道府県などで企画、立案する住宅建設計画をはじめ、都市計画、地域開発、環境整備などの基本資料として利用されます。調査票に書かれた内容は、統計以外の目的に使用することは絶対ではありませんので、調査員がお伺いしたら、ありのままを回答くださるようご協力をお願いいたします。

調査についてはお問い合わせは、市役所企画課統計調査係まで。☎☎1211内線1232

国の基準点(三角点)を基準として境界を測量した地図が備えられていない地域については、公図が土地の位置、形状、地番を示す唯一の公的資料です。今回、公図が法律上、登記所に備

公図閲覧の手数料について

不動産登記法の一部が改正され、10月1日から登記所に備えられた公図(地図に準ずる図面)の閲覧に手数料が必要になりました。

え付けられ、誰でも手数料(一枚400円)を納付して、その閲覧を請求することができるようになりました。公図の閲覧手数料は、公図を整備しその維持管理を行うための経費にあてられるなど、登記事務の適性・迅速な処理の一層の推進を図るために役立てられます。

調停相談会を開催 出水調停協会

次のとおり調停相談会を開催します。お困りの方は遠慮なくおいでください。

日時 平成5年9月27日(月)

午前10時～午後3時まで

場所 市民会館

相談内容

土地、家屋、金銭関係、交通事故等の民事上の問題及び離婚、戸籍関係、遺産相続等の家事上の問題、その他

行政に対するご相談は 行政相談員へ

行政相談週間が10月17日から23日まで実施されます。本市でも次の日程で相談窓口が設けら

れます。

道路、交通安全、税金、年金、保険、農地、郵便、労働など、役所の仕事について苦情や要望をもっているがどこに相談をしてよいかわからない方など、お気軽にご相談ください。

○10月18日(月) 大川地区公民館

○10月21日(木) 臨本地区公民館

○10月22日(金) 中央公民館

※時間はいずれも午前10時～正午まで。

○10月19日・20日・23日は行政相談員の折橋晴典さん宅で相談を受け付けます。

(☎☎1009・☎☎3280)

編集後記

この夏、広報紙を読んでらっしゃる方から一通の署中見舞をいただきました。末筆には「今年は五十歳組で帰ります」と。マ顔も知らない私に、そう言い添えたのは、爛漫して旧友に会える日を心から楽しみにしておられるからでしょう。マ今月号ではひと足早く五十歳組を取り上げました。親戚や友人で市外に五十歳組の参加者を二存じでしたら、内容を少しでも紹介してもらえると幸いです。(費)